

2013年産カリフォルニア・プルーン市況



2004年に次ぐ大減産、供給不足は必至

2013年産カリフォルニア・プルーンの収穫量は、既報の通り、前年の約50%程度の6万5,000～7万ショートトン(以下S/T)の大減産になるといわれています。この収穫量は、過去10年の中で未曾有の不作となった2004年産(4万8,000S/T)に次ぐ少ない収穫量となる予想です。

原因は、2年連続の豊作で木がストレスを抱えていた状況と春先の開花時期の天候不順により結実が少なく、且つ、収穫時期に熱波が襲い、不良果が多かった事などが挙げられます。

上記収穫量に、前年度からの繰越し在庫5万6,000S/Tを加えた総供給量は12万1,000～12万6,000S/Tに留まり、13万5,000S/Tあるといわれる需要に対して供給不足となる事は避けられない状況となりました。そのため、各パッカーとも、必要原料を確保する事が出来ず、現地原料価格は高騰を続けています。

また、慢性的な作付面積の減少は非常に深刻な事態となっています。他の作物に比べて、プルーンの収益の悪さに嫌気を差した農家が多いため、2001年には8万6,000エーカーあったものが、昨年は5万1,000エーカーにまで減少。更に、今期クロップを最後に他の作物に転作する予定の農家も多いため、来年には4万5,000エーカーにまで減少しそうな勢いのため、供給不安は来年以降も続くと思われる。

これにより、2013年クロップの値上がりは避けられない状況となっています。

カリフォルニア産プルーンの需給バランス

(単位:ショートトン)

収穫年/年度(8月期首～翌7月期末)	2011年	2012年	2013年
前年からの繰入※	65,000	56,000	56,000
収 穫 量	137,000	138,000	65,000見込
総 供 給 量	200,000	194,000	121,000見込
出 荷 量	138,700	132,000	135,000見込

※繰越数量は統計によって若干の相違があります